

科目名	スポーツ自由研究B							年度	2025
英語科目名	Sports training practicum B							学期	通年
学科・学年	スポーツトレーナー科 1 年次	必／選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	鈴木	教員の実務経験		有	実務経験の職種		アスレティックトレーナー		
【科目の目的】 スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、その実態や動向を明確にして、その意味・本質など見極め理解を深めることを目的とします。 今後社会に出て、スポーツ関連業種で働くために、裏方の存在を知ることと、スポーツに求められていることを理解できるようになることがねらいです。									
【科目の概要】 スポーツに関することをさまざまな角度から捉え、実態や動向を明確にし、その意義・本質などを見極め理解を深めます。									
【到達目標】 1 つの事柄の成功に向かって、準備～撤収までを協力して行うことを目標にしています。①紅華祭を通じて、スポーツ・医療カレッジが担う業務・運営を行い、成功に導くことを目標にしています。②スポーツ活動・スポーツイベントにおけるボランティア活動（スタッフ実務など）を行い、スポーツの理解を深めることを目標としています。									
【授業の注意点】 授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は出席不良となり修得不可となります。体育祭は、学校全体の行事です。科目履修としてだけではなく、学内活動の参加として積極的に行動してください。スポーツ活動やスポーツイベントは、様々な方と関わりますので、積極的な態度で行動してください。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 もう少し			
到達目標 A	イベントの成功に向け、スケジュールを逆算し、計画的な行動をすることができる		イベントの成功に向け、スケジュールを逆算した行動をすることができる			イベントの成功に向け、行動をすることができる			
到達目標 B	イベントの成功に向け、自身の成長に向き合い、主体的に役割を果たすことができる		イベントの成功に向け、少しだけ主体的に役割を果たすことができる			イベントの成功に向け、指示を受ければ、役割を果たすことができる			
【教科書】 配布プリント									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 課題・平常点									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

